

令和5年度就職氷河期世代の活躍支援に向けた鹿児島県の主な取り組み（実績）

就職氷河期世代就労促進・定着支援事業の実施 （長期無業状態者を中心とした支援の実施）

（1）相談体制の充実

- ・相談から就労までの支援を一貫して行う就職氷河期世代専任の職員を鹿児島市と鹿屋市に設置。

相談件数（延べ数）	第二ステージKPI 2,500件
R6年3月末時点	1,016件（達成割合40.6%）
（内訳）・来所相談	555件
・電話相談	361件
・訪問相談	100件

※新規相談者数 81人

年齢（～40歳）	年齢（41～45歳）	年齢（46～50歳）	年齢（51歳～）
40人	21人	17人	3人

（2）就職氷河期世代専任職員による一貫した支援の実施

- ①キャリアコンサルタント等による専門的な相談
- ②職業適性検査、面接対応等の就労準備サポート
- ③職場見学→（カントリーワーク）→就労体験
- ④求職活動への支援、就労後のフォローアップ

求職活動支援件数（延べ数）	第二ステージKPI 142件
R6年3月末時点	122件（達成割合85.9%）
（内訳）・職業・心理適性検査	24件
・職場見学・就労体験	50件
・企業への応募	48件

（3）進路決定の状況

- ・就労後は定期的に相談者のフォローアップを行い、就労定着を図る。

就業者数（延べ数）	第二ステージKPI 56人
R6年3月末時点	34人（達成割合60.7%）

※その他の進路決定者（職業訓練受講者） 2人

（参考）周知・広報について



南日本リビング新聞、南日本新聞、求人情報誌での広報掲載



各市町村やスーパーマーケット等へチラシの提供